

空き店舗を活用した「街中サロン」と「街のコンシェルジュ事業」で地域のコミュニティを形成

NPO法人バリアフリー協会（中延商店街振興組合）

機関名	NPO法人バリアフリー協会		
所在地	(街中サロン) 東京都品川区東中延 2-6-19 (本部) 東京都品川区東大井 4-4-20-304		
電話番号	(街中サロン) 03-3782-8802 (本部) 03-3471-7141		
地域概要	(1)管内人口 334 千人	(2)管内商店街数 70 商店街	
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数 1	(2)会員数 134 商店	
	(3)空店舗率 1.5%	(4)大型店空き店舗数 0	
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 16 年度 コミュニティ施設活用事業（商店街利用者サービス施設）

- ・街中サロンの設置
- ・街コンシェルジュ事業
- ・街中サロンにおける各種教室の実施。

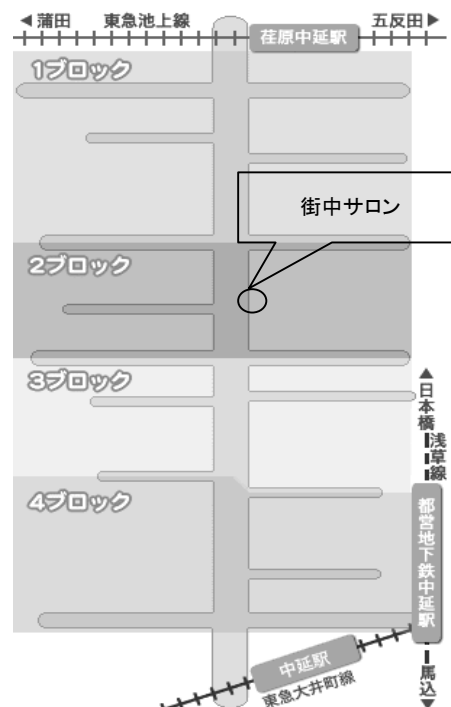
総事業費 9,126 千円

【事業実施内容】

1. 背景

中延商店街振興組合は、東急池上線「荏原中延」駅と東急大井町線「中延」駅とを結ぶ通り沿い一帯に所在する。商店街の歴史は古く、池上線が部分開通した昭和 2 年に荏原中延駅が開設され、まもなく形成されてきた。太平洋戦争の被害を受けたものの、昭和 22 年には協同組合化、昭和 38 年には商店街振興組合に改組し、様々な活動に取り組んできた。昭和 44 年には全蓋アーケードを設置、組合会館もある。一方ソフト事業では、昭和 63 年のアーケード全面改装等の商店街近代化事業の実施を機に、愛称を「なかのぶスキップロード」とし、マスコットキャラクターの選定、2 年に 1 度のねぶた祭り、クレジットカード事業、ポイントカード事業など積極的に取り組んでいる。また、チェーン店も含めて組合へ全店が加入しており、結束力の固い商店街でもある。

中延商店街の商圈内には約 35 千人、18 千世帯が居



中延商店街の位置(中延商店街HPより)

特定非営利活動法人バリアフリー協会

住しているが、近年高齢化の進展が急速に進んでおり、品川区全体の高齢化比率（65歳以上人口の比率）よりも高い状況である。また、隣接する地域には武蔵小山商店街、戸越銀座商店街など有力な商店街があり、顧客流出も懸念されるところであった。

一方、NPO法人バリアフリー協会は、元気な高齢者を対象にしたバリアフリー商品・サービス、ユニバーサル商品・サービスの開発・普及を通じて街づくりを目指しており、高齢者を活性化することによって商店街も活性化する街のコンシェルジュ事業の実施場所を探していた。そして、生鮮食料品、日用品の店が多く、周辺に高齢者の居住も多い中延商店街に話をもちかけた。同協会は商店街関係者に、バリアフリーに関する講義やお年寄りが生き生きする美容教室などを開催してお互いの理解を深めた。

こうして、NPOと商店街とが連携して、空き店舗に街中サロンを設置するとともに、街のコンシェルジュ事業を実施して地域のコミュニティ形成と商店街の更なる賑わいの創出を図ることとした。



中延商店街の様子

2. 事業内容

事業内容としては、高齢者を対象とした街のコンシェルジュ事業、街中サロンの設置とサロンにおける各種教室等の開催である。

(1) 街のコンシェルジュ事業

中高年のコンシェルジュ（有償ボランティア）を登録して、中延商店街を中心にした周辺地域で日常生活に不便を感じている方々に対して、コンシェルジュが有償で支援するサービス。

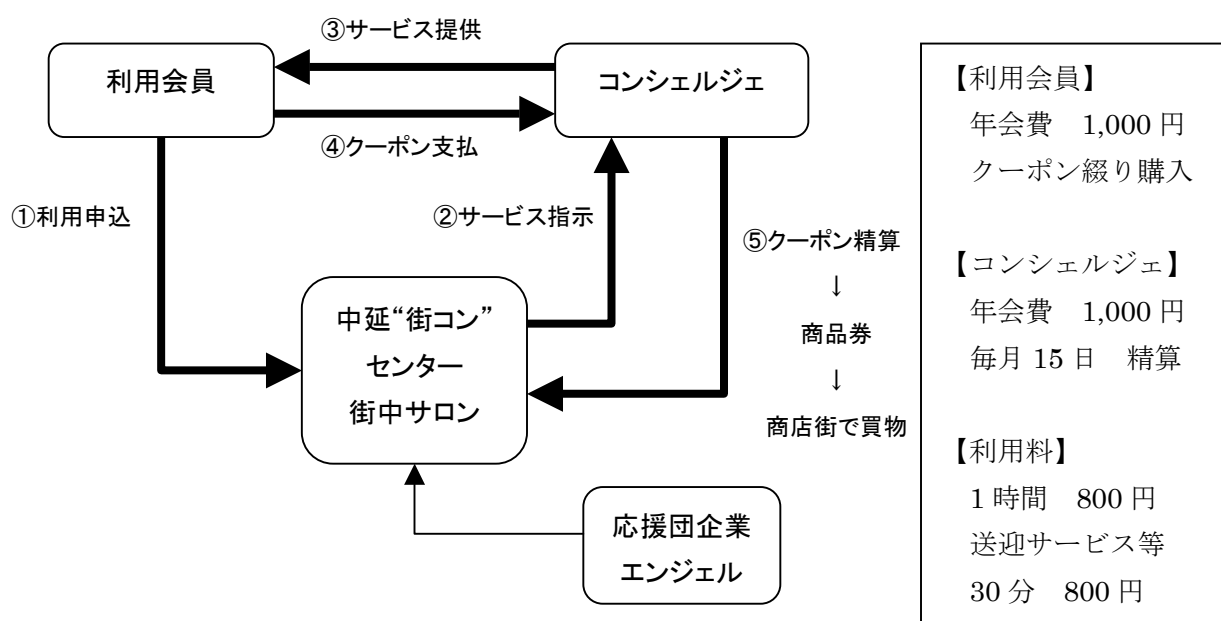
<サービス内容>

- ・家事支援（食事づくり、掃除・洗濯、買物代行等）
- ・軽作業（電球交換、パッキン交換、家具移動等）
- ・軽修理
- ・話し相手
- ・外出支援
- ・パソコン指導・携帯指導
- ・送迎サービス
- ・植物の世話、ガーデニング
- ・趣味の支援 等

<仕組み>

- ①利用希望者は「街中サロン」に利用者登録をする。(サービスを利用できるのは、「街中サロン」から半径 700m 圏内の 50 歳以上の住民。年会費 1,000 円とクーポン券を購入。)
- ②コンシェルジェとして活動を希望する者は「街中サロン」にコンシェルジェとして登録する。(年会費 1,000 円、「街中サロン」から概ね半径 1km 圏内に居住する方)
- ③利用申込があると、「街中サロン」は希望するサービス内容に応じて適当なコンシェルジェを選定し、コンシェルジェがサービスを実施。
- ④利用者はクーポン券でサービスの対価を支払う。利用料は 1 時間 800 円、送迎サービスは 30 分 800 円。
- ⑤コンシェルジェはクーポン券を精算し、500 円分の区内共通商品券と交換できる。

<街のコンシェルジェ事業の仕組み>



街のコンシェルジェ事業の利用実績

コンシェルジェ事業は平成 16 年 10 月から事業を開始し、平成 17 年 3 月末で利用者登録数 60 人、コンシェルジェ登録者数 45 人、利用件数は 174 件であった。(平成 17 年 8 月現在で、利用者登録数は 120 人を超えている。)

(2) 街中サロン事業

街中サロンは、平成 16 年 11 月 4 日 (木) にオープン。商店街の空き店舗を改造して、高齢者が気軽に立ち寄ることのできるサロンとした。また、高齢者同士の交流を活発化するため、街中サロンにおいて各種イベントや教室(「楽習教室」と称した。)を開催した。

特定非営利活動法人バリアフリー協会

街中サロンへの来店客数（人）

H16.10月	11月	12月	H17.1月	2月	3月※	計
203	831	548	449	401	343	2,775

※平成17年3月は「街中サロン」移転のため4日間休業したため、客数が減少。



左:「街中サロン」の外観

右:内部にはコンシェルジュたちの顔写真入り登録証が貼り出されている

「楽習教室」はH16.10月～H17.3月」の6ヶ月間で、27回実施され、延べ254人が参加した。講師は大部分が特技を持った高齢者のボランティアが担当した。

「楽習教室」の実施状況

	開催日	テーマ
1	H16.10.6	超簡単料理教室
2	11.5	PC教室
3	11.25	リース教室
4	11.29	オレオレ詐欺防止教室
5	12.16	簡単料理教室
6	12.19	お絵かき教室
7	12.25	包丁研ぎ教室
8	H17.1.24	高齢者と生活習慣病
9	2.5	豆乳健康パンづくり
10	2.8	街のレストラン第1回
11	2.11	植木鉢で楽しむ花の会
12	2.13	包丁研ぎ教室第2回
13	2.15	街のレストラン第2回
14	2.18	お酒を楽しむ会
15	2.22	街のレストラン第3回
16	2.25	健康食の試食会
17	3.5	豆乳入り野菜スープと豆乳パン
18	3.10	低カロリー健康食の試食会
19	3.12	お酒を楽しむ会
20	3.13	荏原七福神を巡る 歩こう会(現地下見会)
21	3.14	一から始める社交ダンス
22	3.15	カラオケを楽しむ会
23	3.17	街のレストラン第4回
24	3.19	やさしい株式投資入門
25	3.21	植木鉢で楽しむ花の会
26	3.22	街コンニユース編集クラブ
27	3.28	街のレストラン第5回

【 効 果 】

1. 地域住民への波及

商店街の商圏内には多くの高齢者が居住しており、元気な高齢者をコンシェルジェとして登録し、同じ地域の高齢者を支援することと、街中サロンで高齢者を対象とした各種教室を開催することから、地域住民である高齢者たちの活力アップにつながっている。

2. 商店街の認知度

地域住民及びマスコミの評価が高く、その結果、「高齢者にやさしい商店街」というイメージが認知された。また、コンシェルジェが得た商品券が商店街において利用されるようになった。

3. 商店街の組織

コンシェルジェの商品券の利用、商店街へ的高齢者向けベンチの提供及び各商店への顧客紹介などを通じて店主の理解が深まり、商店街との連携が強化された。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

・事業費の確保

本事業は、損益分岐点を迎えるまで約 2.5 年を要する。その間の運営資金を確保することが課題である。このため、利用客及びコンシェルジェ（有償ボランティア）の増加策、現場の声を活かした新たな事業開発、サロンのさらなる出店（水平展開）等を模索中である。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

1. 強力なリーダーシップ
2. 地元自治体からの支援（3年間程度）
3. 商店街との連携を強化すること。

【 関 連 U R L 】

特定非営利活動法人バリアフリー協会 <http://www.bfa.gr.jp/>

中延商店街振興組合 <http://www.nakanobu.com/top.html>